

○フロリドゲル経口用 [内], ▼フロリド臍坐剤 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ミコナゾール Miconazole 【分類】 口腔・食道カンジダ症治療剤

【単位】 ○5g/本 [2%], ▼100mg/坐剤

【常用量】

■口腔カンジダ症, 食道カンジダ症に対して 10~20g/日

■坐剤: 1日1回1個を臍深部に挿入 [一般に6日間投与で真菌学的効果・自覚症状の改善が得られるが, 再出現防止のために14日間投与]

【用法】 1日4回 [毎食後と寝る前]

■口腔: 口腔内にまんべんなく塗布. 病巣が広範囲の場合は口腔内にできるだけ長く含んだ後嚥下

■食道: 口腔内に含んだ後, 少量ずつ嚥下

【透析患者への投与方法】 肝排泄型のため, 減量の必要なし (1,4,6)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 イミダゾール系抗真菌薬. 滞留性に優れた製剤で口腔及び食道粘膜病巣部に直接作用することが可能であり, 口腔カンジダ症, 食道カンジダ症の治療に用いられる。

【吸収】 初回通過効果を受ける [ラット] (1)

【F】 臍坐剤 1.4% (Daneshmend TK: J Antimicrob Chemother 1986 PMID: 3771433)

【代謝】 CYP3A, 2C9 と親和性を有する (1)

【排泄】 尿中に6%回収 [イス, 168hr まで] (1) 13% [ラット, 168hr まで] (1)

【蛋白結合率】 98% (1)

【MW】 416.13

【透析性】 透析液に2.8%が移行するのみ (1)

【相互作用】 ワルファリンと併用禁忌で, 相互作用強度も予測が難しい (1, Miki A, et al: J Clin Pharm Ther 2011 PMID: 21143257) CYP3A4 阻害による基質薬剤の効果増強に注意 (1) CYP2D6, 3A4 を阻害 (Gronlund J, et al: Antimicrob Agents Chemother 2011 PMID: 21173180)

【更新日】 20230316

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。